

の「第1版1刷」は2011年2月21日であるが、2011年3月11日に東日本大震災が起こり、直ちに東日本大震災と、DMAT活動要領改正（2012年3月）、用語の修正のコラムを追加して、2012年11月15日に「増補版DMAT標準テキスト」が発行された。しかし東日本大震災では地震、津波に、福島原発事故があり、複合災害を呈した。そのため被災地でのDMATの活動は多岐に渡り、その後の改正点などを整理するために、「DMAT標準テキスト改訂第2版」が2015年に作成された。この中には、航空法施行規則第176条（捜索と救助の特例）に関することや、日本医師会のJMAT、固定翼、透析患者搬送などが追加されている。

おわりに

災害医療はいつ発生するか分からず、それぞれの災害で問題がある。現在の熊本地震でDMATが出

動しているが、今後は日本医師会のJMATも活動されるであろう。

DMAT、JMAT、日本赤十字救護班等をはじめ、お互いの組織が情報交換し、長期的に医療活動を行うことが大切である。

（平成28年4月19日 記）

文献

1. 浅井康文、森 和久：竜巻、災害・健康危機管理ハンドブック、診断と治療社、2007；147-154. DMATテキスト、へるす出版
2. 浅井康文、丹野克俊、島崎修次、山本保博：洞爺湖サミットの救急医療体制、救急医療ジャーナル、2008；93(16)：56-57.
3. DMAT標準テキスト：改訂第2版、監修：日本集団災害医学会、P1-353、2015、へるす出版

お知らせ

第1回BDLS (Basic Disaster Life Support) 札幌 プロバイダーコースの開催について

◇救急医療部◇

米国における災害医学教育プログラムであるBDLSが、米国で行われている内容そのまま、第1回BDLS札幌プロバイダーコースとして開催されます。多くの方々にご参加いただければ幸いです。

日時：平成28年7月16日（土）9：00～17：00（予定）

場所：札幌医科大学臨床教育研究棟 1階 講堂（札幌市中央区南1条西16丁目291番地）

主催・共催：札幌医科大学 救急医学講座、北海道病院前・航空・災害医学講座

対象者：医師・看護師等の医療従事者、消防（救急隊）・警察・海上保安庁の方、行政機関職員の方、学生、災害医療関係者等200名

参加費：12,000円（登録料・消費税を含む）

講義内容：8時間の講義、筆記試験（すべて日本語、座学）

応募期間：平成28年4月25日～6月25日（定員超過の場合は抽選）

応募方法：必ずメール sapporobdls@gmail.com まで、件名にBDLS受講希望と入れ、①氏名（ローマ字表記も）、②生年月日（西暦）、③職種（医師はPhD（博士号）の有無も）、④所属、⑤連絡先（電話番号、E-mail）、⑥資料送付先（郵便番号、住所）を添えてお申込みください。

※受講生は、受講前に①個人アカウント登録、②受講するコースの登録、③プレテストをWEB上で受ける必要があります。締め切り後、事前案内をメーリングリストにてお知らせいたします。プレテストを行わないと受講登録ができませんのでご注意ください（合否、受講可否の影響はありません）。受講可否につきましては、締め切り後1週間以内にご連絡いたします。

●問い合わせ先：NDLSグローバルトレーニングセンター日本事務局

コースコーディネーター札幌医科大学救急医学講座・上村助教まで、E-mailにて sapporobdls@gmail.com宛て、件名にBDLS問い合わせと入れてください。